



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



解答例

2021年1月29日朝刊西部版

記事を読んで問いに答えなさい。

掛川・桜が丘中で授業

LGBTへの 偏見なくそう

掛川市の桜が丘中は28日、性の多様性やLGBTについて理解を深める授業を行った。LGBTへの偏見をなくし、性の不一致に悩む生徒が相談しやすい環境をつくる目的で企画した。同校初の試み。

性の多様性を理解

同校では本年度、コロナ差別を防ぐための授業を行うなど、人権教育に力を入れている。今回は1年生の学級活動として実施した。養護教諭が性には体の性、心の性、好きになる性の三つの要素があると話し、三つの要素

素に違和感を覚える性的少数者がLGBTだと説明した。

生徒はゲイである男性が両親に告白する内容のビデオを視聴し、もし友人にLGBTだと打ち明けたらどう接するか考えた。「心の性を否定する」と説明し、「二人

一人が違って当たり前。自分の個性、他者の個性を尊重し合える学校、社会にしよう」と強調した。授業を終えた松浦翼さん(13)は「この世にはいろいろな人がいて、一人一人好き嫌いが違う。どんな人も自分らしく生きればいいと思った」と感想を述べた。

「少しショックを受けるかも」落ち込んでいたら「はげます方法がわからない」と戸惑う生徒もいた。養護教諭はLGBTの人は日本人の中に7.6%いると説明し、二人



もし友人がLGBTだと打ち明けたらどう接するか、意見を交わす生徒＝掛川市立桜が丘中

①記事の授業を企画した目的は何か。

LGBTへの偏見をなくし、性の不一致に悩む生徒が相談しやすい環境をつくる(目的)。

②この授業では、「LGBT」をどのように説明しているか。記事中の関係するところに線を引きなさい。

③「LGBT」の人は日本人の中に何%いると考えられているのか。
(7.6)%

④「個性を尊重し合える社会」とはどのような社会だと考えるか。あなたの考えを40字以内で書きなさい(句読点を含む)。

(例)一人一人が自らの個性を發揮し、自分らしく生きることができる社会。
一人一人の違いをその人のよさと捉え、違いがあることは望ましいと考える社会。
など

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(中学校～高校/道徳、特別活動、総合)